

## 法経論集既刊分目録

この目録には第101号から第118・119合併号までの法律篇所収の論文、  
第120・121合併号以降第200号までの全論文を収載する。

### 第101号 法律篇（昭和58年3月）

- 5・6世紀ガリアにおける王権と軍隊……………佐藤彰一  
初期ギリシアにおけるディケ（*δίκη*）の思想（二）……………西野基継  
——マルチン・ハイデッガーとエーリック・ヴォルフ  
の所説を中心に——  
組織論的共犯論序説（III）……………夏目文雄  
M. アバンスール／V. プロス著  
幽閉者の解放（翻訳）……………浜本正文  
ジェンナーロ・サッソ著  
ニコロ・マキアヴェッリ……………須藤祐孝  
——その政治思想の生成と展開——（訳8—訳註8・了）（翻訳）  
油木兵衛

### 第102号 法律篇（昭和58年8月）

- 組織論的共犯論序説（IV）……………夏目文雄  
所持人の形式的資格と善意の支払（一）……………長谷川雄一  
——手形抗弁の研究(13)の1——  
新民学会時代の毛沢東の手紙……………池上貞一  
——中国現代革命史資料叢刊『新民学会資料』（中国革命博物館・  
湖南省博物館編・人民出版社出版・1980年9月第1版）より——（翻訳）  
ルネサンス・フィレンツェ，イタリア，ヨーロッパ……………須藤祐孝  
——マキアヴェッリの時代と生涯——（II-i）（年表・年譜）  
油木兵衛

### 第103号 法律篇（昭和58年11月）

- 組織論的共犯論序説（V）……………夏目文雄  
所持人の形式的資格と善意の支払（二）……………長谷川雄一  
——手形抗弁の研究(13)の2——  
初期ギリシアにおけるディケ（*δίκη*）の思想（三）……………西野基継  
——マルチン・ハイデッガーとエーリック・ヴォルフ  
の所説を中心に——

### 第104号 法律篇（昭和59年3月）

- 組織論的共犯論序説（VI）……………夏目文雄

初期ギリシアにおけるディケ (*δίκη*) の思想 (四・完)……………西 野 基 継  
 ——マルチン・ハイデッガーとエーリック・ヴォルフ  
 の所説を中心に——

Etre Affranchi au haut moyen age……………佐 藤 彰 一  
 Une catégorie juridique dans les mutations politiques et  
 sociales du royaume franc (VI<sup>e</sup>-début du IX<sup>e</sup> siècles)  
 ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ……………須 藤 祐 孝  
 ——マキアヴェッリの時代と生涯—— (II-ii) (年表・年譜) 油 木 兵 衛

### 第 105 号 法 律 篇 (昭和59年 8 月)

組織論的共犯論序説 (VII)……………夏 目 文 雄  
 第一次上海事変と外務省の役割……………俞 辛 焯  
 (続) 豊橋冤罪事件 (上)……………宮 崎 鎮 雄  
 ——覚書と資料—— (資料)  
 A. D. ニール, D. G. ゴイダー著  
 アメリカ反トラスト法 (訳 1) (翻訳)……………杉 浦 市 郎

### 第 106 号 法 律 篇 (昭和59年12月)

組織論的共犯論序説 (VIII)……………夏 目 文 雄  
 訴訟要件の審理順序 (一)……………片 野 三 郎  
 イギリス憲法史におけるコークの地位……………酒 井 吉 栄  
 ——コークの憲法思想研究 II —— (研究ノート)  
 (続) 豊橋冤罪事件 (下)……………宮 崎 鎮 雄  
 ——資 料—— (資料)

### 第 107 号 法 律 篇 (昭和60年 3 月)

組織論的共犯論序説 (IX)……………夏 目 文 雄  
 フェデリーコ・シャボー著  
 ルネサンスに国家は存在したか (翻訳)……………須 藤 祐 孝  
 A. D. ニール, D. G. ゴイダー著  
 アメリカ反トラスト法 (訳 2) (翻訳)……………杉 浦 市 郎  
 ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ……………須 藤 祐 孝  
 ——マキアヴェッリの時代と生涯—— (II-iii) (年表・年譜) 油 木 兵 衛

### 第 108 号 法 律 篇 (昭和60年 8 月)

西ドイツ競争制限禁止法における  
 差別禁止規定について……………杉 浦 市 郎  
 ——第二次改正および第四次改正を中心として——

法経論集既刊分目録

訴訟要件の審理順序 (二) .....	片 野 三 郎
組織論的共犯論序説 (X) .....	夏 目 文 雄
フェデリーコ・シャボー著 ルネサンス・イタリアの〈国家〉と『君主論』(翻訳) .....	須 藤 祐 孝

第 109 号 法 律 篇 (昭和60年12月)

組織論的共犯論序説 (XI) .....	夏 目 文 雄
訴訟要件の審理順序 (三) .....	片 野 三 郎
1960年以降フランス学界における中世初期 都市・農村関係に関する研究 (研究動向) .....	佐 藤 彰 一
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ .....	須 藤 祐 孝
——マキアヴェッリの時代と生涯—— (II-iv) (年表・年譜)	油 木 兵 衛

第 110 号 法 律 篇 (昭和61年2月)

組織論的共犯論序説 (XII) .....	夏 目 文 雄
訴訟要件の審理順序 (四)・完 .....	片 野 三 郎
A. D. ニール, D. G. ゴイダー著 アメリカ反トラスト法 (訳3) (翻訳) .....	杉 浦 市 郎

第 111 号 法 律 篇 (昭和61年7月)

軍人・政治家・理論家 .....	柳 澤 英二郎
組織論的共犯論序説 (XIII) .....	夏 目 文 雄
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ .....	須 藤 祐 孝
——マキアヴェッリの時代と生涯—— (II-v) (年表・年譜)	油 木 兵 衛

第 112 号 法 律 篇 (昭和61年10月)

イギリス労働党における憲法論争とポピュリズム (一) .....	藤 城 和 美
——欧州共同市場加盟問題と議会民主主義——	
組織論的共犯論序説 (XIV) (完) .....	夏 目 文 雄
ピアフラ問題と自決権 .....	中 野 進
西ドイツ民事上告法の展開 (上) .....	片 野 三 郎
——1969年8月15日の負担軽減法以降—— (研究ノート)	
Shaw, Malcolm N.: <i>Title to Territory in Africa:</i> <i>International Legal Issues</i> (書評) .....	三 好 正 弘

第 113 号 創立四十周年記念特輯 法 律 篇 (昭和62年2月)

序 .....	石 井 吉 也
---------	---------

憲法の父たちと司法審査	酒 井 吉 栄
組織論的共犯論	夏 目 文 雄
——共犯論の本質と構造についての再論——	
最近の国際仲裁裁判の傾向	三 好 正 弘
満州事変期の陸軍省パンフレット	江 口 圭 一
第二次広東軍政府時期の孫文	森 時 彦
取締役会決議につき特別利害関係を 有する兼任取締役の範囲	松 山 三和子
民法第一七七条と 背信的悪意の第三者について	山 中 康 雄

#### 第 114 号 法 律 篇（昭和62年 8 月）

キューバの刑法	上 野 達 彦
イギリス労働党における憲法論争と ポピュリズム（二）・完	藤 城 和 美
——欧州共同市場加盟問題と議会民主主義——	
西ドイツ民事上告法の展開（下）	片 野 三 郎
——1969年 8 月 15 日の負担軽減法以降——（研究ノート）	
近代日本酒税法小史（I）（資料）	夏 目 文 雄

#### 第 115 号 法 律 篇（昭和62年 12 月）

イギリス枢密院による アメリカ植民地立法の規範統制	酒 井 吉 栄
近代日本酒税法小史（II）（資料）	夏 目 文 雄
1979年キューバ共和国刑法典（試訳）（一）	上 野 達 彦
——1979年 2 月 15 日 法律第21号，1979年 11 月 1 日施行——（資料）	

#### 第 116 号 法 律 篇（昭和63年 3 月）

トランスカイ問題と自決権（上）	中 野 進
近代日本酒税法小史（III）（資料）	夏 目 文 雄
1979年キューバ共和国刑法典（試訳）（二）	上 野 達 彦
——1979年 2 月 15 日 法律第21号，1979年 11 月 1 日施行——（資料）	

#### 第 117 号 法 律 篇（昭和63年 6 月）

株主名簿の名義書換の法理	黒 野 恭 成
——不当拒絶および会社の認容——	
トランスカイ問題と自決権（下）	中 野 進

法経論集既刊分目録

近代日本酒税法小史 (IV) (資料) .....	夏 目 文 雄
1979年キューバ共和国刑法典 (試訳) (三) .....	上 野 達 彦
——1979年2月15日 法律第21号, 1979年11月1日施行—— (資料)	

第 118・119 合併号 法 律 篇 (平成1年2月)

解釈学的主体の倫理 .....	緒 形 康
——厳復・ハックスレー・スペンサー・ジェヴォンズ——	
近代日本酒税法小史 (V) (資料) .....	夏 目 文 雄
1979年キューバ共和国刑法典 (試訳) (四)・完 .....	上 野 達 彦
——1979年2月15日 法律第21号, 1979年11月1日施行—— (資料)	

第 120・121 合併号 法経学部改組 法学部発足 記念特輯 (1989年12月)

序 .....	浜 田 稔
有価証券の概念について .....	石 井 吉 也
——故 本間喜一先生の所説を中心に——	
名義書換請求と会社の免責 .....	黒 野 恭 成
——特に株式の相続の場合——	
商法二五八条一項の	
「取締役の権利義務を有する者」の法的地位 .....	松 山 三和子
——取締役解任の訴えと職務執行停止・代行者選任の仮処分の申請——	
アラブ刑法における正犯・共犯 .....	夏 目 文 雄
職務執行命令訴訟制度と戦後地方自治制度改革 .....	間 田 穆
立憲か? 専制か? .....	緒 形 康
——清末政治思想の一側面——	

第 122 号 (1990年2月)

被害者の心因的「要因」と損害賠償(1) .....	松 浦 以津子
近代日本酒税法小史 (VI) (資料) .....	夏 目 文 雄
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ .....	須 藤 祐 兵
——マキアヴェッリの時代と生涯—— (II-vi) (年表・年譜)	

第 123 号 (1990年6月)

欠陥商品の被害と消費者問題 .....	藤 塚 晴 生
東独総選挙と“戦後”の終り (研究ノート) .....	柳 澤 英二郎
近代日本酒税法小史 (VII) (資料) .....	夏 目 文 雄

ルネサンス・フィレンツェ，イタリア，ヨーロッパ……………	須油	藤木	祐兵	孝衛
——マキアヴェッリの時代と生涯——（II-vii）（年表・年譜）				

## 第 124 号 （1990年12月）

生成と考古学……………	緒形	康		
——子安宣邦『事件』としての祖徠学』を読む——				
被害者の心因的「要因」と損害賠償(2)……………	松浦	以津子		
近代日本酒税法小史（VIII）（資料）……………	夏目	文雄		
ルネサンス・フィレンツェ，イタリア，ヨーロッパ……………	須油	藤木	祐兵	孝衛
——マキアヴェッリの時代と生涯——（II-viii）（年表・年譜）				

## 第 125 号 （1991年2月）

悪徳商法と消費者法教育の必要性……………	藤塚	晴生		
近代日本酒税法小史（IX）（資料）……………	夏目	文雄		
フェデリーコ・シャボー著				
ルネサンス・イタリアの〈国家〉と				
『君主論』（二・了）（翻訳）……………	須藤	祐孝		

## 第 126 号 （1991年8月）

アメリカ合衆国における				
連邦行政組織再編成イニシアティブの変遷（一）……………	間田	穆		
近代日本酒税法小史（X）（資料）……………	夏目	文雄		
ルネサンス・フィレンツェ，イタリア，ヨーロッパ……………	須油	藤木	祐兵	孝衛
——マキアヴェッリの時代と生涯——（II-ix）（年表・年譜）				

## 第 127 号 （1991年12月）

ソ連における犯罪現況と死刑論（一）……………	上野	達彦		
製造物責任の立法化をめぐる一考察……………	藤塚	晴生		
同時代史の諸問題（研究ノート）……………	柳澤	英二郎		
近代日本酒税法小史（XI）（資料）……………	夏目	文雄		
ルネサンス・フィレンツェ，イタリア，ヨーロッパ……………	須油	藤木	祐兵	孝衛
——マキアヴェッリの時代と生涯——（II-x）（年表・年譜）				

## 第 128 号 （1992年2月）

ソ連における犯罪現況と死刑論（二）……………	上野	達彦		
近代日本酒税法小史（XII）（資料）……………	夏目	文雄		

法経論集既刊分目録

フェデリーコ・シャポー著

ルネサンス・イタリアの国家観（一）……………須 藤 祐 孝  
—— stato, nazione, patria の用語法から見て——（翻訳）

汪澍白 著

毛沢東の中国・西洋文化観の変遷（翻訳）……………池 上 貞 一  
ルネサンス・フィレンツェ，イタリア，ヨーロッパ……………須 藤 祐 孝  
——マキアヴェッリの時代と生涯——（II-xi）（年表・年譜）

第 129 号 （1992年 7 月）

言語ナショナリズムとロマン主義……………緒 形 康  
ソ連における犯罪現況と死刑論（三・完）……………上 野 達 彦  
国際政治 1981-1991（1）（研究ノート）……………柳 澤 英二郎  
近代日本酒税法小史（XIII）（資料）……………夏 目 文 雄

汪澍白 著

毛沢東の早期の歴史観（翻訳）……………池 上 貞 一  
ルネサンス・フィレンツェ，イタリア，ヨーロッパ……………須 藤 祐 孝  
——マキアヴェッリの時代と生涯——  
（II-xii. 本篇，了）（年表・年譜）

第 130 号 （1992年 12 月）

中国刑法における犯罪構成要件の理論……………夏 目 文 雄  
国際政治 1981-1991（2）（研究ノート）……………柳 澤 英二郎  
職務質問のための停止に必要な合理的な嫌疑の有無とその判断方法  
United States v. Sokolow, 490 U. S. 1 (1989)（外国判例研究）……………加 藤 克 佳  
近代日本酒税法小史（XIV）（資料）……………夏 目 文 雄  
フェデリーコ・シャポー著  
ルネサンス・イタリアの国家観（二・了）……………須 藤 祐 孝  
—— stato, nazione, patria の用語法から見て——（翻訳）

第 131 号 （1993年 2 月）

“二回革命論”とは何か……………緒 形 康  
人間の尊厳の多義性（一）……………西 野 基 継  
近代日本酒税法小史（XV）（資料）……………夏 目 文 雄  
汪澍白 著  
毛沢東早年期の思想に関する二論文（翻訳）……………池 上 貞 一

## 第 132 号 (1993 年 7 月)

人民戦争のディスクール	緒 形 康
人間の尊厳の多義性 (二)	西 野 基 継
プロフィール, 歴史家 F. シャボー (研究ノート)	須 藤 祐 孝
何秉松主編「法人犯罪と刑事責任」 (1991 年, 中国法政出版社) (紹介)	大 塚 仁 軍
近代日本酒税法小史 (XVI) (資料)	夏 目 文 雄
Licensing and Related Legal Issues in the Japan-South Korea Joint Development Agreement of 1974 (論説)	三 好 正 弘

## 第 133 号 (1993 年 12 月)

産業政策と競争政策の交錯としての EC 合併規則 (1) ——制定史を中心として	杉 浦 市 郎
強制された自白の許容と ハームレス・エラー理論の適用 (外国判例研究)	加 藤 克 佳
近代日本酒税法小史 (XVII) (資料)	夏 目 文 雄
ヨアヒム・ヘルマン 取引司法——ドイツ刑事司法にとって有用か? (翻訳)	加 藤 克 佳
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ ——マキアヴェッリの時代と生涯—— (補遺-i) (年表・年譜)	須 藤 祐 孝 油 木 兵 衛

## 第 134 号 (1994 年 2 月)

人間の尊厳の多義性 (三)	西 野 基 継
産業政策と競争政策の交錯としての EC 合併規則 (2・完) ——制定史を中心として	杉 浦 市 郎
近代日本酒税法小史 (XVIII) (資料)	夏 目 文 雄
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ ——マキアヴェッリの時代と生涯—— (補遺-ii) (年表・年譜)	須 藤 祐 孝 油 木 兵 衛

## 第 135 号 (1994 年 7 月)

人間の尊厳の多義性 (四)	西 野 基 継
堕胎規制に関する米国連邦最高裁の 新たな基準について (外国判例研究)	萩 原 滋
近代日本酒税法小史 (XIX) (資料)	夏 目 文 雄



第 136 号 (1994年12月)

アルトゥール・カウフマンの 法哲学の生成と構造 (一) .....	西 野 基 継
コールグローヴ対グリーン事件の研究 .....	酒 井 吉 栄
州裁判所の審理での立証懈怠と 連邦人身保護令状手続における証拠調べの要否 (外国判例研究) .....	加 藤 克 佳
不正競争防止法改正法草案 (資料) .....	杉 浦 市 郎
近代日本酒税法小史 (XX) (資料) .....	夏 目 文 雄
International Law in the Modern History of Japan (論説) .....	三 好 正 弘

第 137 号 (1995年2月)

ベーカー対カー事件の研究序説 .....	酒 井 吉 栄
アルトゥール・カウフマンの 法哲学の生成と構造 (二) .....	西 野 基 継
参議院愛知地方区再選挙とマスコミ報道 .....	大 西 五 郎
自治省「公共性」法的分析・私論覚書 (一) (研究ノート) .....	間 田 穆
近代日本酒税法小史 (XXI) (資料) .....	夏 目 文 雄
フィレンツェ統治および統治体制論 (一) .....	須 藤 祐 孝
原典翻訳 ルネサンス・フィレンツェ政治・政体論集(1) (翻訳)	

第 138 号 (1995年6月)

ベイク対カー事件の研究 (一) .....	酒 井 吉 栄
アルトゥール・カウフマンの 法哲学の生成と構造 (三) .....	西 野 基 継
刑事再審法理の動向と課題 .....	加 藤 克 佳
——証拠の「明白性」論を中心として——	
罪刑法定主義と刑法解釈 .....	萩 原 滋
ドイツにおける上告制限 .....	片 野 三 郎
——許可上告と受理上告——	
ジローラモ・サヴォナローラ .....	サルヴォ・マステッローネ 須 藤 祐 孝
ルネサンス・イタリアの政論家たち(1)	
ドイツ再審法改正草案 (資料) .....	加 藤 克 佳
近代日本酒税法小史 (XXII) (資料) .....	夏 目 文 雄
フィレンツェ統治および統治体制論 (二・完) .....	須 藤 祐 孝
原典翻訳 ルネサンス・フィレンツェ政治・政体論集(1) (翻訳)	

### 第 139 号 (1995年11月)

ベイカ対カー事件の研究 (二)……………	酒 井 吉 栄
非財産権上の訴訟における許可上告 (外国判例研究)……………	片 野 三 郎
近代日本酒税法小史 (XXIII) (資料)……………	夏 目 文 雄
湛中楽 著	
中国行政法学の歴史と現状の概要	
「行政訴訟法」実施状況の分析 (翻訳)……………	間 田 吉 川 穆 剛
ヨアヒム・ヘルマン著	
東ヨーロッパにおける刑事訴訟法改革のモデル……………	加 藤 克 佳
——公判構造の変化と答弁取引の	
ヨーロッパ的代替策についての比較法的考察—— (翻訳)	

### 第 140 号 (1996年2月)

レイノルズ対シムズ事件の研究……………	酒 井 吉 栄
類推禁止の原則とドイツ判例……………	萩 原 滋
ドイツにおける上告審の自判について……………	片 野 三 郎
借地借家法改正と賃料改定問題 (研究ノート)……………	副 田 隆 重
近代日本酒税法小史 (XXIV) (資料)……………	夏 目 文 雄

### 第 141 号 (1996年7月)

アメリカ連邦最高裁の役割に関する一考察……………	大 林 文 敏
——セイヤー理論とペリー理論との交錯を中心にして——	
ウェスベリ対サンダーズ事件の研究……………	酒 井 吉 栄
類推禁止の原則と判例……………	萩 原 滋
必要的差戻しについて……………	片 野 三 郎
ミランダ法則違反と人身保護令状による救済 (外国判例研究)……………	加 藤 克 佳
近代日本酒税法小史 (XXV) (資料)……………	夏 目 文 雄
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ……………	須 藤 祐 孝 衛
——マキアヴェッリの時代と生涯—— (補遺-iii) (年表・年譜)	油 木 兵

### 第 142 号 (1996年12月)

設立中の会社の構成員としての発起人の責任……………	松 山 三 和 子
持株会社と独占禁止法……………	杉 浦 市 郎
——巨大な経済権力の社会的制御としての持株会社規制——	
アルトゥール・カウフマンの法哲学の生成と構造 (四)……………	西 野 基 継

# 法経論集既刊分目録

グレイ対サンダーズ事件の研究……………	酒 井 吉 栄
——一九六三年三月一八日判決——	
近代日本酒税法小史 (XXVI) (資料)……………	夏 目 文 雄
ニッコロ・マキアヴェッリ	
忘恩・嫉妬, 運命, 野心・貪欲, 好機 (翻訳)……………	須 藤 祐 孝
汪澍白	
前代兵法家の策略に対する毛沢東の批判的継承 (翻訳)……………	池 上 貞 一
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ……………	須 藤 祐 孝
——マキアヴェッリの時代と生涯—— (補遺-iv) (年表・年譜)	油 木 兵 衛

## 第 143 号 創立五十周年記念特輯 (1997年3月)

序……………	江 口 圭 一
時の経過と刑事再審……………	加 藤 克 佳
——訴訟記録・証拠の滅失の場合を中心として——	
過失犯処罰と明文規定の要否……………	萩 原 滋
教唆正犯論序説……………	夏 目 文 雄
国際司法裁判所と仲裁裁判所の最近の判例傾向……………	三 好 正 弘
——領域・境界紛争の判例に即して——	
中国の法を考える……………	浅 井 敦
レイノルズ以後における定数裁判の実像……………	酒 井 吉 栄
同族的閉鎖会社における株式評価……………	松 山 三和子
共同抵当をめぐる代位と担保保存義務……………	槇 悌 次
人間を透視するマキアヴェッリ……………	須 藤 祐 孝
——「人間の尊厳」を見出せない者の冷徹, 情熱, 焦燥——	

## 第 144 号 (1997年7月)

ニッコロ・マキアヴェッリ	
ルネサンス・イタリアの政論家たち(2)……………	サルヴォ・マステッローネ 須 藤 祐 孝
カークパトリック対ブレイスラ事件とその周辺……………	酒 井 吉 栄
近代日本酒税法小史 (XXVII) (資料)……………	夏 目 文 雄
ドイツ刑事訴訟法入門 (翻訳)……………	クラウス・ロクシン 加 藤 克 佳 [訳]

## 第 145 号 (1997年12月)

サヴォナローラの時代, 生涯, 思想 (一)……………	須 藤 祐 孝
アメリカにおける定数裁判の潮流 (一)……………	酒 井 吉 栄
戦後地方自治制度史・覚え書き……………	小 林 武
——50年代以降を中心にして—— (研究ノート)	

交通反則金不当利得返還請求事件 (判例研究) .....	武 田 真一郎
近代日本酒税法小史 (XXVIII) (資料) .....	夏 目 文 雄
サヴォナローラ説教選 (一)	
原典翻訳 ルネサンス・フィレンツェ政治・政体論集(2) (翻訳) .....	須 藤 祐 孝
ヴァルター・ペロン	
刑法の国境は越えられるか? .....	加 藤 克 佳
——異なる刑法体系を同化・統一するための	
構造的条件に関する考察—— (翻訳)	
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ .....	須 藤 祐 孝 油 木 兵 衛
——マキアヴェッリの時代と生涯 (補遺-v) —— (年表・年譜)	

## 第 146 号 (1998年3月)

判例の不遡及的変更の批判的考察 .....	萩 原 滋
アメリカにおける定数裁判の潮流 (二) .....	酒 井 吉 栄
近代日本酒税法小史 (XXIX) (資料) .....	夏 目 文 雄
ヨアヒム・ヘルマン	
中華人民共和国における刑事公判改革のモデル .....	加 藤 克 佳
——ドイツからみた比較法的考察—— (翻訳)	
新しい行政経営論 .....	マンフレッド・レービンダー クリスチャン・シュワルツェネッガー [訳]
——スイス行政法における改革の動き—— (講演)	
ルネサンス・フィレンツェ, イタリア, ヨーロッパ .....	須 藤 祐 孝 油 木 兵 衛
——マキアヴェッリの時代と生涯—— (補遺-vi・完) (年表・年譜)	

## 第 147 号 (1998年7月)

最高裁判所における上告 .....	片 野 三 郎
一九七十年代における再配分	
連邦議会におけるその効果 .....	酒 井 吉 栄
インターネットにおける言論の自由 (外国判例研究) .....	萩 原 滋
近代日本酒税法小史 (XXX) (資料) .....	夏 目 文 雄
サヴォナローラ説教選 (二)	
原典翻訳 ルネサンス・フィレンツェ政治・政体論集(2) (翻訳) .....	須 藤 祐 孝
ハインツ・シェッヒ	
性犯罪の被害者証人である子供と	
刑事訴訟における保護策 (翻訳) .....	加 藤 克 佳

## 第 148 号 (1998年12月)

地方政府による市民セクター支援政策の現状と課題 .....	牛 山 久仁彦
—— NPO 活動と行政の協働を進めるための自治体政策——	

法経論集既刊分目録

- 政論家サヴォナローラ……………須 藤 祐 孝  
 ——その歩み、背景、視点——（研究ノート）  
 交通反則金不当利得返還請求控訴事件（判例研究）……………武 田 真一郎  
 近代日本酒税法小史（XXXI）（資料）……………夏 目 文 雄  
 サヴォナローラ説教選（三・完）  
 原典翻訳 ルネサンス・フィレンツェ政治・政体論集(2)（翻訳）……………須 藤 祐 孝

第 149 号 （1999年 3 月）

- 人間の尊厳の多義性（五）……………西 野 基 継  
 サヴォナローラの時代、生涯、思想（二）……………須 藤 祐 孝  
 近代日本酒税法小史（XXXII）（資料）……………夏 目 文 雄

第 150 号 （1999年 7 月）

- 小岩井淨とファシズム（一）……………藤 城 和 美  
 ——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——  
 人間の尊厳の多義性（六）……………西 野 基 継  
 近代日本酒税法小史（XXXIII）（資料）……………夏 目 文 雄

第 151 号 （1999年 12 月）

- 小岩井淨とファシズム（二）……………藤 城 和 美  
 ——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——  
 交通反則金不当利得返還請求上告事件（判例研究）……………武 田 真一郎  
 刑事没収と過大な罰金禁止条項（外国判例研究）……………萩 原 滋  
 近代日本酒税法小史（XXXIV）（資料）……………夏 目 文 雄  
 ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯（一）（翻訳）……………須 藤 祐 孝

第 152 号 （2000年 2 月）

- 小岩井淨とファシズム（三）……………藤 城 和 美  
 ——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——  
 不動産小口化商品における所有権移転に伴う  
 賃貸人の地位の帰趨と保証金返還請求権（判例研究）……………久須本 かおり  
 上告不許可の裁判（外国判例研究）……………片 野 三 郎  
 近代日本酒税法小史（XXXV）（完）（資料）……………夏 目 文 雄  
 ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯（二）（翻訳）……………須 藤 祐 孝

ヴァルター・ペロン

刑法と刑事訴訟法との関係についての考察（翻訳）……………加 藤 克 佳

### 第 153 号 （2000 年 7 月）

人間の尊厳の多義性（七）……………西 野 基 継

EC 条約八五条及び八六条を実施する規則の

現代化に関する委員会のホワイト・ペーパー（一）……………杉 浦 市 郎

小岩井淨とファシズム（四）……………藤 城 和 美

——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——

Grundzüge des japanischen Strafverfahrens……………加 藤 克 佳

ロベルト・リドルフィ

マキアヴェッリの生涯（三）（翻訳）……………須 藤 祐 孝

### 第 154 号 （2000 年 12 月）

上告許容性の裁判における理由付け義務……………片 野 三 郎

人間の尊厳の多義性（八）……………西 野 基 継

小岩井淨とファシズム（五）……………藤 城 和 美

——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——

ノンフィクション小説の名誉毀損、プライバシー侵害、

および名誉感情の侵害が問われた事例（判例研究）……………大 林 文 敏

東海三県下自治体の情報公開条例実施状況（調査報告）……………大 西 五 郎

ロベルト・リドルフィ

マキアヴェッリの生涯（四）（翻訳）……………須 藤 祐 孝

ヨアヒム・ヘルマン

日本における死刑についての考察……………加 藤 克 佳

——西原春夫教授に依て——（翻訳）

### 第 155 号 （2001 年 2 月）

刑罰権の限界としての比例原則……………萩 原 滋

——ドイツの判例と学説（一）

小岩井淨とファシズム（六）……………藤 城 和 美

——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——

ロベルト・リドルフィ

マキアヴェッリの生涯（五）（翻訳）……………須 藤 祐 孝

### 第 156 号 （2001 年 7 月）

企業結合法……………李 秀 宓

——台湾会社法を中心として——

法経論集既刊分目録

刑罰権の限界としての比例原則……………	萩原滋
——ドイツの判例と学説（二・完）……………	
小岩井淨とファシズム（七）……………	藤城和美
——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——……………	
貨物引換証（商法五七一条——商法五七五条，商法五八四条）（註釈）……………	石井吉也
電子取引と契約法理（講演）……………	野村豊弘
非独立附帶上告における訴訟費用の負担（外国判例研究）……………	片山三郎
ヨアヒム・ヘルマン	
ドイツ刑事手続における合意（翻訳）……………	加藤克佳

第 157 号 （2001 年 12 月）

住民投票法制化への視点……………	武田真一郎
——住民投票立法フォーラムの試案を中心として——……………	
行政組織編成と立法・行政間の権限分配の原理（三）……………	松戸浩
宅配便約款と不法行為責任……………	石井吉也
——最高裁判決を中心にして——（判例研究）……………	
一 建造物侵入，強盗致傷罪の共同正犯として起訴された被告人について， 幫助罪が成立するとした事例……………	
二 建造物侵入及び窃盗の幫助罪と事後強盗致傷の幫助罪に該当するが， 窃盗の幫助罪は事後強盗致傷の幫助行為と時間的，場所的に近接した一 連の行為であるとして窃盗の幫助罪は事後強盗致傷の幫助罪に吸収され るとした事例（判例研究）……………	豊田兼彦

第 158 号 （2002 年 2 月）

行政組織編成と立法・行政間の権限分配の原理（四・完）……………	松戸浩
中日民事再審手続の比較……………	張麗霞
最高裁判所の思い出……………	園部逸夫
——園部逸夫先生講演録——（講演）……………	武田真一郎

第 159 号 （2002 年 7 月）

盗品等に関する罪について（一）……………	豊田兼彦
——被害者への盗品売却援助事例を手がかりに——……………	
国家賠償における組織的過失について……………	武田真一郎
小岩井淨とファシズム（八）……………	藤城和美
——日本ファシズム論と人民戦線論をめぐって——……………	

民法一九四条の占有者における盗品の使用収益権と 盗品返還後の代価弁償請求の可否	久須本 かおり
(平成一〇年(受)第一二八号動産引渡請求本訴, 代金返還請求反訴事件, 最高裁平成一二年六月二七日 第三小法廷判決民集五四卷五号一七三七頁)(判例研究)	

### 第 160 号 (2002年12月)

事務配分規定成立の経緯 (一)	松 戸 浩
行政刑法解釈と罪刑法定主義	萩 原 滋
盗品等に関する罪について (二)	豊 田 兼 彦
——被害者への盗品売却援助事例を手がかりに——	
民法四一八条の類推適用による 履行請求権の割合的縮減	久須本 かおり
自殺免責期間を定める約款規定の効力	広 瀬 裕 樹
ロベルト・リドルフィ マキアヴェッリの生涯 (六) (翻訳)	須 藤 祐 孝

### 第 161 号 (2003年3月)

盗品等に関する罪について (三・完)	豊 田 兼 彦
——被害者への盗品売却援助事例を手がかりに——	
ロベルト・リドルフィ マキアヴェッリの生涯 (七) (翻訳)	須 藤 祐 孝
ハインツ・シェッヒ 被害者保護	加 藤 克 佳
——あらゆる刑事訴訟改革論議の試金石か? —— (翻訳)	
ドイツ新民事訴訟法典 (2002年)	片 野 三 郎
——上訴部分—— (資料)	

### 第 162 号 (2003年8月)

フランス司法裁判所の判例に見る「人間の尊厳」の原理 (一)	小 林 真 紀
事務配分規定成立の経緯 (二)	松 戸 浩
ロベルト・リドルフィ マキアヴェッリの生涯 (八) (翻訳)	須 藤 祐 孝
ドイツ法文化とその担い手	クリストファー・ベアマン 大川 四郎 [訳注]
(2002年度愛知大学法学会講演会講演録)(講演)	
窃盗等の被害者を相手方として盗品等の有償の処分の あっせんをする場合と盗品等処分あっせん罪の成否 (判例研究)	豊 田 兼 彦



第 163 号 (2003年12月)

- フランス司法裁判所の判例に見る「人間の尊厳」の原理 (二・完)……………小 林 真 紀  
 日韓放送法の比較 (研究ノート)……………大 西 五 郎  
 告示による処分と行政不服審査法一四条一項にいう  
 「処分があったことを知った日」(判例研究)……………松 戸 浩  
 ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯 (九) (翻訳)……………須 藤 祐 孝

第 164 号 (2004年2月)

- 両罰規定と責任主義……………萩 原 滋  
 事務配分規定成立の経緯 (三・完)……………松 戸 浩  
 有期労働契約関係における使用者の予測責任……………石 原 和 子  
 —— BAG 判決にみる有期労働契約上の使用者責任—— (研究ノート)  
 ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯 (一〇) (翻訳)……………須 藤 祐 孝

第 165 号 (2004年7月)

- EU 競争法新実施規則について……………杉 浦 市 郎  
 通帳機械払いによる無権限者への  
 預金払戻しにおける銀行の責任と預金者の過失……………久須本 かおり  
 責任保険における被保険者の破産……………広 瀬 裕 樹  
 ——近時の裁判例を契機とした一考察——  
 ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯 (一一) (翻訳)……………須 藤 祐 孝

第 166 号 (2004年12月)

- 戸籍における婚外子差別記載の憲法問題 (一)……………小 林 武  
 共犯の処罰根拠と客観的帰属 (1)……………豊 田 兼 彦  
 貸金業の規制等に関する法律43条の「みなし弁済」規定の  
 適用がないとされた事例……………榎 本 修  
 最高裁平成16年2月20日第2小法廷判決 (判例研究)  
 ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯 (一二) (翻訳)……………須 藤 祐 孝  
 マルセル・ジュノー ——一人の『第三の兵士』として (翻訳)……………ブノワ・ジュノー著  
 大川四郎 [訳]  
 Marcel Junod : un 'troisième combattant' (資料)……………大川四郎 [編]

## 第 167 号 (2005 年 2 月)

- 具体的事実の錯誤における法定的符合説と違法論……………専 田 泰 孝  
 ——具体的符合説の立場から——
- フランチャイズ契約締結準備段階における  
 売上・利益予測情報の提供(1)……………木 村 義 和  
 ——オーストラリア法の考察を中心に——
- 占有不動産につき時効完成後に抵当権が設定された場合に  
 おける占有者と抵当権者との関係(判例研究)……………久須本 かおり
- 戸籍続柄欄における非嫡出子(婚外子)区別記載の違憲性……………小 林 武  
 ——とくに「法律上の争訟」性の具備および平等原則の  
 侵害にかんする憲法学の観点からの意見書——(資料)
- ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯(一三)(翻訳)……………須 藤 祐 孝
- 合州国司法長官ジョン・D・アシュクロフト対アメリカ自由人権協会他…伊 藤 博 文  
 (Ashcroft, Attorney General v. American Civil Liberties Union et. al.)  
 —No. 03-218.—(翻訳)

## 第 168 号 (2005 年 7 月)

- 法概念としての人間の尊厳についての予備的考察……………西 野 基 継  
 立法不作為に関する一考察……………大 林 文 敏  
 ——ALS 患者選挙権訴訟を中心に——
- 戸籍における婚外子差別記載の憲法問題(二・完)……………小 林 武  
 イギリスにおけるスーパーマーケットのコード・オブ・プラクティス…杉 浦 市 郎  
 ——大規模小売業者による納入業者に対する不公正取引の規制——
- フランチャイズ契約締結準備段階における  
 売上・利益予測情報の提供(2)……………木 村 義 和  
 ——オーストラリア法の考察を中心に——
- 事後強盗罪における窃盗と暴行・脅迫との  
 関連性について(研究ノート)……………豊 田 兼 彦
- 法科大学院教育におけるノートパソコンの活用……………伊 藤 博 文  
 ——愛知大学法科大学院における取り組み——(研究ノート)
- 人間を蘇らせる歴史家, ロベルト・リドルフィ(研究ノート)……………須 藤 祐 孝
- ロベルト・リドルフィ  
 マキアヴェッリの生涯(一四・完)(翻訳)……………須 藤 祐 孝
- シンポジウム:裁判員制度の展望と課題……………伊藤 納・互 敦史  
 佐藤 博史・大澤 裕  
 加藤 克佳・豊田 兼彦  
 ——公判審理のあり方をめぐって——(資料)

第 169 号 (2005 年 12 月)

- Wiederaufnahmeverfahren bei zum Tode Verurteilten .....加 藤 克 佳  
(死刑確定者の再審手続)
- 具体的事実の錯誤における法定的符合説と構成要件 .....専 田 泰 孝  
——具体的符合説の立場から——
- フランチャイズ契約締結準備段階における  
売上・利益予測情報の提供 (3・完) .....木 村 義 和  
——オーストラリア法の考察を中心に——
- 「地方自治の本旨」解釈の課題 (覚え書き) .....小 林 武
- 第 1 次世界大戦中の名古屋俘虜収容所における救恤活動について .....大 川 四 郎  
——赤十字国際委員会駐日代表フリッツ・パラヴィチーニ報告を  
もとにして—— (研究ノート)
- ハロー・オットー「先行行為に基づく保障人的義務と答責性」 .....岩 間 康 夫  
(Harro Otto, Ingerenz und Verantwortlichkeit, in:  
Festschrift für Karl Heinz Gössel zum 70.  
Geburtstag am 16. Oktober 2002, 2002, S. 99ff.) (紹介)
- 平等をめざす, いわゆるパプーアの陰謀 (一) (翻訳) .....田 中 正 人

第 170 号 (2006 年 2 月)

- Zum Beteiligungssystem von Laienrichtern (Saiban'in-System)  
in Japan .....加 藤 克 佳  
——Insbesondere im Vergleich mit dem deutschen Schöffensystem——
- 日本の裁判員制度について .....加 藤 克 佳  
——ドイツの参審制度との比較を中心として——
- フランチャイズ契約締結準備段階におけるフランチャイザーによる  
売上収益予測情報とフランチャイジーによる店舗経営 .....木 村 義 和  
平等をめざす, いわゆるパプーアの陰謀 (二) (翻訳) .....フィリップ・ブオナローティ著  
田中正人 [訳]
- ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一) .....小 林 武  
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen  
Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)

第 171 号 (2006 年 7 月)

- 94 条 2 項類推適用あるいは 94 条 2 項・110 条重疊的類推適用の限界 (1) .....久須本 かおり
- CBLT の可能性 .....伊 藤 博 文
- 今日の憲法改正構想における地方自治論の位置 (研究ノート) .....小 林 武
- ジョヴァンニ・チプリアーニ  
理性の勝利 (一) (翻訳) .....須 藤 祐 孝

平等をめざす、いわゆるバプーフの陰謀（三）（翻訳）	フィリップ・ブオナローティ著 田中正人〔訳〕
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』（二）	小林 武
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)	
法学会記事	

## 第 172 号 (2006 年 12 月)

明治期一日本人留学生の大日本帝国憲法論	大 川 四 郎
——野沢武之助（1866-1941）がジュネーブ州立大学法学部 に提出した博士号請求論文について——	
地域自治体としてのパリッシュカウンシル	春 日 修
——その制度と実態——	
日本における死刑確定者の再審手続	加 藤 克 佳
94 条 2 項類推適用あるいは 94 条 2 項・110 条重畳的類推適用の限界(2)完	久須本 かおり
ヨーロッパ人権裁判所による EC 派生法の条約適合性審査の可能性	小 林 真 紀
—— Bosphorus 事件判決を題材に——（研究ノート）	
「新」地方自治法における自治立法権の特質（研究ノート）	小 林 武
平等をめざす、いわゆるバプーフの陰謀（四）（翻訳）	フィリップ・ブオナローティ著 田中正人〔訳〕
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』（三）	小 林 武
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)	
クラウス・ロクシン「不真正不作為における相応条項」	岩 間 康 夫
(—Claus Roxin, Die Entsprechungsklausel beim unechten Unterlassen, in: Festschrift für Klaus Lüderssen zum 70. Geburtstag am 2. Mai 2002, 2002, S. 577ff.) (紹介)	

## 第 173 号 (2007 年 2 月)

教師の国旗敬礼拒否・忠誠宣誓拒否(1)	長 峯 信 彦
——一九七〇年代のアメリカの判例から——	
サヴォナローラの時代、生涯、思想（三）	須 藤 祐 孝
消費者金融におけるあるべき利息像と民事法	相 川 修
——貸金業法に関する裁判例を題材として——	
アメリカのモバイル・ローヤー像を探る	伊 藤 博 文
人間の尊厳と人間の生命をめぐる	
最近のドイツの議論（一）（研究ノート）	西 野 基 継
平等をめざす、いわゆるバプーフの陰謀（五）（翻訳）	フィリップ・ブオナローティ著 田中正人〔訳〕

法経論集既刊分目録

- ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(四)……………小 林 武  
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen  
Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)
- 刑事訴訟法199条1項ただし書の括弧書を改廃しない  
立法不作為の違憲性……………小 林 武  
——憲法学の観点からの鑑定意見書—— (資料)

第174号 (2007年7月)

- 生命保険において自殺免責期間を定める約款規定の効力——再論……………広 瀬 裕 樹  
中国特許法における余事記載救済原則の出現とその帰趨……………浅 井 正  
——認識容易な法における柱状節理現象モデル——
- 「パッツィ家の陰謀」関連年表……………須 藤 祐 孝  
——ルネサンス・フィレンツェ：  
一大権力闘争の背景、展開、帰結—— (研究ノート)
- 平等をめざす、いわゆるバブーフの陰謀 (六) (翻訳)……………フィリップ・ブオナローティ著  
田中正人 [訳]
- ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(五)……………小 林 武  
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen  
Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)
- 裁判手続における「合議」保障の意義……………小 林 武  
——憲法学の観点からの鑑定意見書—— (資料)
- 三つのリアリズム……………米 倉 明 修  
榎 本  
——法科大学院教育における—— (講演)
- 法学会記事

第175号 (2007年12月)

- 16世紀フランス慣習法公式編纂論……………大 川 四 郎  
——シャルル・デュムウラン (1500-1566) の  
『フランス慣習法統一論』を素材にして——
- 教師の国旗敬礼拒否・忠誠宣誓拒否(2)……………長 峯 信 彦  
——一九七〇年代のアメリカの判例から——
- 「私生活の尊重」と体外受精における意思決定……………小 林 真 紀  
——ヨーロッパ人権裁判所 Evans 対英国事件判決を題材に——  
(研究ノート)
- 2007年の大統領選挙と国民議会総選挙……………田 中 正 人  
——2002年以後のフランス政治の展開との関連で—— (研究ノート)
- 人間の尊厳と人間の生命をめぐる  
最近のドイツの議論 (二) (研究ノート)……………西 野 基 継
- 平等をめざす、いわゆるバブーフの陰謀 (七) (翻訳)……………フィリップ・ブオナローティ著  
田中正人 [訳]

ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(六)……………	小 林 武
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)	
地方議会における議員に対する不利益措置の司法審査対象性……………	小 林 武
——憲法学の観点からの鑑定意見書—— (資料)	

## 第 176 号 (2008 年 3 月)

自治体組織管理にかかる公共性概念の再検討……………	入 江 容 子
——公共サービスの外部化を手がかりに——	
契約締結交渉の不当破棄における責任(1)……………	久須本 かおり
イギリスの地区委員会と自治体内分権化……………	春 日 修
著作中の「パッツィ家の陰謀」(一)……………	須 藤 祐 孝
——ルネサンス・フィレンツェの 一大権力闘争はどう書き継がれてきたのか——	
人間の尊厳と人間の生命をめぐる 最近のドイツの議論 (三) (研究ノート)……………	西 野 基 継
中小株式会社に対する会社法制定の影響……………	広 瀬 裕 樹
～2005 年度に実施したアンケート調査の検討～ (調査報告)	
平等をめざす、いわゆるバブーフの陰謀 (八) (翻訳)……………	フィリップ・ブオナローティ著 田中正人 [訳]
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(七)……………	小 林 武
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)	
平和的生存権の裁判規範性……………	小 林 武
——イラク平和訴訟熊本地裁における証言—— (資料)	

## 第 177 号 (2008 年 8 月)

行政主体間の争訟と地方自治……………	山 本 未 来
——逗子市米軍住宅追加建設訴訟を契機として——	
契約締結交渉の不当破棄における責任(2)完……………	久須本 かおり
日本国憲法における国際協調主義の今日的意義……………	小 林 武
共同正犯の誤想について……………	岩 間 康 夫
——その可罰性に関するドイツの議論を素材に——	
人間の尊厳と人間の生命をめぐる 最近のドイツの議論 (四) 完 (研究ノート)……………	西 野 基 継
平等をめざす、いわゆるバブーフの陰謀 (九) (翻訳)……………	フィリップ・ブオナローティ著 田中正人 [訳]
〈出家〉をめぐる詩 (二篇)……………	ジローラモ・サヴォナローラ著 須藤祐孝 [訳・註解]
——ルネサンスにおける 〈政治的〉修道士の胎動(1)—— (翻訳)	フィリッポ・ミニニ [協力]

- ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(八)……………小 林 武  
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen  
Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)

法学会記事

第 178 号 (2008 年 9 月)

- 受刑者の「私生活の尊重」に対する権利と人工授精……………小 林 真 紀  
——ヨーロッパ人権裁判所 Dickson 対イギリス事件判決を題材に——  
(研究ノート)  
平等をめざす、いわゆるパプーフの陰謀 (一〇・完) (翻訳)………… フィリップ・ブオナローティ著  
田中正人 [訳]  
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(九)……………小 林 武  
(Jörg Paul Müller: Elemente einer schweizerischen  
Grundrechtstheorie. Bern 1982.) (翻訳)  
自衛隊イラク派兵の違憲性および平和的生存権の具体的権利性の弁証…………小 林 武  
——名古屋高裁における証言—— (資料)

第 179 号 (2008 年 11 月)

- 胚の法的保護の枠組みに関する一考察……………小 林 真 紀  
——フランス生命倫理法の視点から——  
被害者側の過失について……………久須本 かおり  
教師の国旗敬礼拒否・忠誠宣誓拒否 (3・完)……………長 峯 信 彦  
——一九七〇年代のアメリカの判例から——  
アメリカにおける個別的行政解釈の司法審査と宣言的命令……………春 日 修  
ICT はどこまで弁護士を救えるか……………伊 藤 博 文  
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一〇) (翻訳)…………小 林 武  
愛知県青少年保護育成条例における「自動販売機」定義の憲法問題…………小 林 武  
——憲法学の観点からの鑑定意見書〔試稿〕—— (資料)

第 180 号 (2009 年 3 月)

- 自治体議会改革の憲法問題……………小 林 武  
欠陥車両による交通死亡事故に関する  
自動車修理工場長の保障人的義務……………岩 間 康 夫  
——ドイツ連邦通常裁判所第 4 刑事部 2008 年 3 月 6 日判決——  
(外国判例研究)  
〈出家〉をめぐる手紙……………ジローラモ・サヴォナローラ著  
須藤祐孝 [訳・註解]  
——ルネサンス・イタリアにおける  
フィリッポ・ミニョーニ [協力]  
〈政治的〉修道士の胎動 (2・了) —— (翻訳)  
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一一) (翻訳)…………小 林 武

## 第 181 号 (2009年 8 月)

フランス生命倫理法に見る胚および

胚性幹細胞 (ES 細胞) 研究をめぐる法的課題……………小 林 真 紀  
——生物医学機構「2004年 8 月 6 日の生命倫理法の  
適用の総括」報告書をもとに—— (研究ノート)

フランチャイズ契約締結準備段階においてフランチャイズ本部が

提供した売上収益予測が不合理であったとされた事例 (判例批評)……………木 村 義 和  
イラク派兵訴訟岡山地裁判決と平和的生存権 (判例研究)……………小 林 武  
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一二) (翻訳)……………小 林 武  
法学会記事

## 第 182 号 (2009年 9 月)

サヴォナローラの時代, 生涯, 思想 (四)……………須 藤 祐 孝  
土地利用規制と司法救済……………春 日 修  
——取消訴訟か? 確認訴訟か? ——

言語権……………小 林 武  
——憲法的考察のための断章(1)—— (研究ノート)

ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一三) (翻訳)……………小 林 武

## 第 183 号 (2009年 12 月)

児童虐待防止法 9 条の 3 に基づく児童虐待強制立入調査と令状主義……………山 本 未 来  
——合衆国憲法修正 4 条の行政調査への適用を手がかりに——

サヴォナローラの時代, 生涯, 思想 (五)……………須 藤 祐 孝  
民法 724 条後段の適用制限について……………久須本 かおり  
——最高裁平成 21 年 4 月 28 日第 3 小法廷判決  
平成 20 年 (受) 第 804 号損害賠償請求事件——

憲法 9 条をめぐる解釈の原点と政策の現点……………小 林 武  
——「九条運動」論のための覚え書き(1)—— (研究ノート)

日雇い派遣労働者の賃金控除と賃金請求権の消滅時効……………金 井 幸 子  
——グッドウィル事件・福岡地裁平成 20 年 12 月 4 日判決——  
(判例批評)

合州国連邦最高裁判所

ニューヨーク・タイムズ社 対 L. B. サリバン

ラルフ D. アバーナシー他 対 L. B. サリバン (翻訳)……………伊 藤 博 文

ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一四) (翻訳)……………小 林 武



第 184 号 (2010年 3 月)

自己株式の取得における開示制度……………	李 秀 宓
クローンと人間の尊厳 (研究ノート)……………	西 野 基 継
憲法 9 条をめぐる解釈の原点と政策の現点……………	小 林 武
——「九条運動」論のための覚え書き (2)—— (研究ノート)	
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一五) (翻訳)……………	小 林 武
ドイツ刑事法廷における答弁取引 (講演)……………	ヘニング・ローゼナウ 加藤 克佳 [訳]

第 185 号 (2010年 7 月)

政教分離に関する違憲審査基準の動揺……………	大 林 文 敏
——砂川市政教分離訴訟を素材として——	
日中戦争前夜における労働戦線統一問題と人民戦線 (上)……………	藤 城 和 美
殺人現場に同行した者に危険な先行行為に基づく犯行阻止義務が 認められ、作為行為者との共同正犯とされた事例……………	岩 間 康 夫
——東京高判平成 20 年 10 月 6 日判決, 判例タイムズ 1309 号 292 頁以下—— (判例評釈)	
通常生ずべき損害と損害軽減義務……………	久須本 かおり
——最高裁平成 21 年 1 月 19 日第二小法廷判決平成 19 年 (受) 第 102 号—— (判例評釈)	
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一六) (翻訳)……………	小 林 武
自衛隊とその「情報保全」活動の違憲性 (1)……………	小 林 武
——憲法学の観点からの鑑定意見書—— (資料)	
法学会記事	

第 186 号 (2010年 9 月)

規制行政と確認訴訟 (当事者訴訟) による救済……………	春 日 修
日中戦争前夜における労働戦線統一問題と人民戦線 (下)……………	藤 城 和 美
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一七) (翻訳)……………	小 林 武
自衛隊とその「情報保全」活動の違憲性 (2・完)……………	小 林 武
——憲法学の観点からの鑑定意見書—— (資料)	
法科大学院における勉強法 (講演)……………	森 山 文 昭

第 187 号 (2010年 12 月)

私生活の尊重の概念と出自を知る権利……………	小 林 真 紀
——ヨーロッパ人権条約 8 条をめぐる議論をもとに——	

フランチャイズ契約における廃棄ロスとチャージ, そして見切り販売制限(1)……………	木村義和
最高裁における政教分離の判断方法……………	小林武
——空知太神社違憲判決と富平神社合憲判決—— (判例評釈)	
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一八)(翻訳)……………	小林武

## 第188号 (2011年3月)

On Neutrality of Network Regulation Ver. 2. 11e……………	伊藤博文
サヴォナローラの時代, 生涯, 思想(六)……………	須藤祐孝
地方自治体の組織と権能に関する考察(研究ノート)……………	入江容子
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(一九)(翻訳)……………	小林武
住民投票制度のプレビシットの運用(1)……………	小林武
——名古屋市の事例から考える—— (資料)	

## 第189号 (2011年7月)

ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表の権限行使に対する司法審査……………	田中清久
——国際領域管理におけるアカウントビリティの問題の一側面——	
商品先物取引における説明義務……………	上杉めぐみ
——最高裁平成21年7月16日判決をもとに——	
フランチャイズ契約における廃棄ロスとチャージ, そして見切り販売制限(2)……………	木村義和
訴訟上相殺の訴訟費用化について……………	片野三郎
サヴォナローラの時代, 生涯, 思想(七)……………	須藤祐孝
神社の大祭奉賛会発足式への市長の出席・祝辞と政教分離原則……………	大林文敏
——白山ひめ神社事件最第一小判(2010[平成22]年7月22日) 判例時報2087号26頁, 判例タイムズ1330号81頁—— (判例評釈)	
ヨルク・パウル・ミュラー『スイス基本権原論』(二〇・完)(翻訳)……………	小林武
法学会記事	

## 第190号 (2011年9月)

公園での子どもの事故と国家賠償法2条1項の損害賠償責任……………	山本未来
フランチャイズ契約における廃棄ロスとチャージ, そして見切り販売制限(3)……………	木村義和
上級審における相殺の訴訟費用……………	片野三郎
〈永遠の〉マキアヴェッリ……………	須藤祐孝
——内に怒りを秘めた男の人生と政治思想(一)	

契約締結に向けられた信義則上の説明義務違反について……………	久須本	かおり
——最高裁平成23年4月22日判決平成20年（受）		
第1940号損害賠償請求事件——（判例評釈）		

## 第191号 （2012年2月）

確認訴訟（当事者訴訟）と差止訴訟（抗告訴訟）の関係について……………	春 日	修
裁判員裁判におけるICT利用について……………	伊 藤	博文
サヴォナローラの時代、生涯、思想（八）……………	須 藤	祐 孝
「主権」概念と「地域主権」改革……………	小 林	武
早期完済違約金条項に対する適格消費者団体の差止請求権（第一審： 京都地判平成21年4月23日，控訴審：大阪高判平成21年10月23日） （判例研究）……………	上 杉	めぐみ
行使条件に違反する新株予約権の行使に基づく 新株発行の効力について……………	李	秀 宓
——東京地判平成21年3月19日判例時報2052号108頁——（判例研究）		

## 第192号 （2012年8月）

団体訴訟制度における消費者契約法10条の要件……………	上 杉	めぐみ
差止訴訟（抗告訴訟）における「損害の重大性」……………	春 日	修
——執行停止との関係において——		
「真正な登記名義の回復」による中間省略登記……………	石 口	修
——最（一小）判平成22年12月16日を契機として——		
複数反対債権による相殺の訴訟費用……………	片 野	三 郎
サヴォナローラの時代、生涯、思想（九）……………	須 藤	祐 孝
町職員の戸別訪問調査が国賠上違法 とされた事例（関ヶ原町署名簿事件）……………	大 林	文 敏
——名古屋高裁判決（2012〔平成24〕年4月27日）——（判例研究）		
法学会記事		

## 第193号 （2012年12月）

不招請勧誘禁止をめぐる法的課題(1)……………	上 杉	めぐみ
有期労働契約と変更解約告知……………	金 井	幸 子
——ドイツ法を参考として——		
アメリカ会社訴訟における中間的差止命令手続の機能と展開(3)……………	吉 垣	実
——予備的差止命令と仮禁止命令の紛争解決機能——		
米国閉鎖会社法における少数株主抑圧に関する救済理論(1)……………	小 林	俊 明
近時における法・判例形成と憲法学……………	小 林	武

〈永遠の〉マキアヴェッリ（二）……………	須 藤 祐 孝
——内に怒りを秘めた男の人生と政治思想	
1945年来日前の赤十字国際委員会代表	
マルセル・ジュノー博士による人道活動について……………	大 川 四 郎
——日本国内史料をもとにして——（研究ノート）	
生殖医学の進歩と人間の尊厳・人間の生命の保護（研究ノート）……………	西 野 基 継

## 第 194 号 （2013年 3 月）

提携リース契約の法的性質……………	上 杉 めぐみ
——提携リース契約を「第三者のためにする契約」と	
構成することの試論——	
アメリカ会社訴訟における中間的差止命令手続の機能と展開(4)……………	吉 垣 実
——予備的差止命令と仮制止命令の紛争解決機能——	
ミネソタ州の裁判実務における ICT 利用について（調査報告）……………	伊 藤 博 文
取得時効完成後の抵当権設定と再取得時効の成否（判例研究）……………	石 口 修
建替え費用の損害賠償請求が認められるための要件と	
635条但書（判例研究）……………	久須本 かおり

## 第 195 号 （2013年 7 月）

フランチャイズ契約における廃棄ロスとチャージ、	
そして見切り販売制限（4・完）……………	木 村 義 和
アメリカ会社訴訟における中間的差止命令手続の機能と展開(5)……………	吉 垣 実
——予備的差止命令と仮制止命令の紛争解決機能——	
米国閉鎖会社法における少数株主抑圧に関する救済理論(2)……………	小 林 俊 明
サヴォナローラの時代、生涯、思想（十）……………	須 藤 祐 孝
着床前診断の利用と「私生活および家族生活の尊重」……………	小 林 真 紀
——ヨーロッパ人権裁判所 Costa および Pavan	
対イタリア事件判決を題材に——（研究ノート）	
携帯電話利用サービス契約の中途解約における解約金支払条項	
ならびに自動更新条項について（研究ノート）……………	久須本 かおり
法学会記事	

## 第 196 号 （2013年 9 月）

アメリカ会社訴訟における中間的差止命令手続の機能と展開(6)……………	吉 垣 実
——予備的差止命令と仮制止命令の紛争解決機能——	
陪審機能の変遷と刑事法的作用領域（研究ノート）……………	早 野 暁

道路にかかる都市計画決定に対する救済方法……………	春 日 修
——奈良地判平成24年2月28日大和都市計画道路変更決定取消等請求事件・大阪高判平成24年9月28日大和都市計画道路変更決定取消等請求控訴事件——（判例研究）	

第197号 （2013年12月）

公海上の外国船舶に対する干渉行為をめぐる 海洋法と国際人権法の交錯……………	田 中 清 久
——Medvedyev事件欧州人権裁判所判決を素材として——	
アメリカ会社訴訟における中間的差止命令手続の機能と展開(7)……………	吉 垣 実
——予備的差止命令と仮制止命令の紛争解決機能——	
民法724条後段の適用制限・再考……………	久須本 かおり
——カネミ油症訴訟ならびに幼少期の性的虐待を 原因とするPTSD訴訟を契機として——	
予備的相殺と訴訟費用負担の裁判……………	片 野 三 郎
平和的生存権論の展開状況……………	小 林 武
——2008年名古屋高裁判決以降の特質——	

第198号 （2014年3月）

香港の新会社法(1)……………	李 秀 宏
不招請勧誘の禁止をめぐる法的課題（2・完）……………	上 杉 めぐみ
アメリカ選挙運動資金における州公費補助制度の憲法学的考察……………	落 合 俊 行
——Arizona Free Enterprise Club's Freedom Club PAC v. Bennett 事件連邦最高裁判決（2011年）の法理——	
沖縄における平和的生存権の可能性……………	小 林 武
サヴォナローラの時代，生涯，思想（十一）……………	須 藤 祐 孝
ドイツ諸州の行政上の義務履行確保運用及び 行政執行体制に関する調査研究報告(1)（調査報告）……………	西 津 政 信

第199号 （2014年8月）

香港の新会社法(2)……………	李 秀 宏
借家権・看板設置権と不動産所有権との関係について（前編）……………	石 口 修
——所有権の行使に対する制限法理の一適用——	
確認訴訟（当事者訴訟）の利用場面と確認の利益……………	春 日 修
沖縄米軍基地爆音訴訟における 平和的生存権の主張……………	小 林 武
法学会記事	

第 200 号 (2014 年 9 月)

日本国憲法制定期における沖縄の位置 ……………	小 林 武
——帝国議会の審議から—— (研究ノート)	
ドイツ諸州の行政上の義務履行確保運用及び行政執行体制に関する 調査研究報告(2) (調査報告) ……………	西 津 政 信
ハワイ州の法実務・教育における ICT 利用について (調査報告) ……………	伊 藤 博 文
法経論集既刊分目録	